

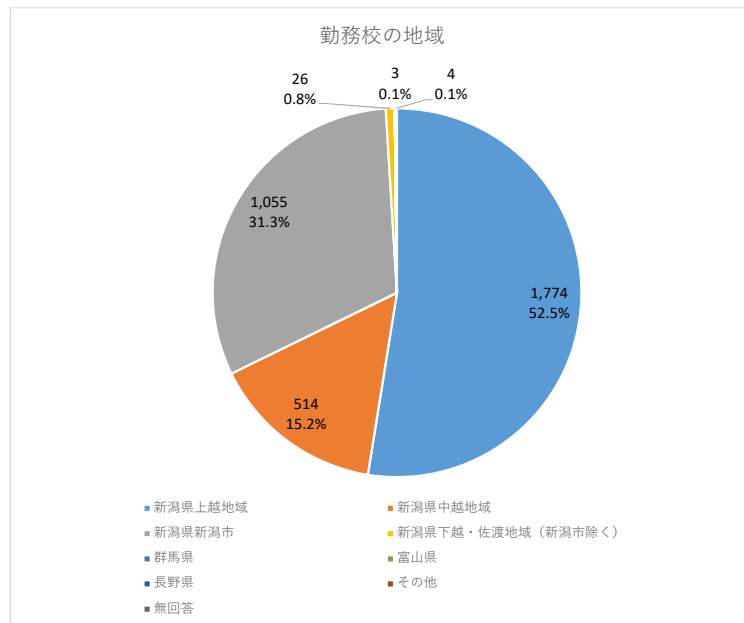
学校現場に必要とされる教員や新しい大学院に関する意識調査 回答集計結果

【新潟県内学校教員対象】

調査期間 2017年9月5日～9月30日
 対象者数 6,952人
 回答数 3,376件(回答率 48.6%)
 設問数 25問+意見感想自由記述

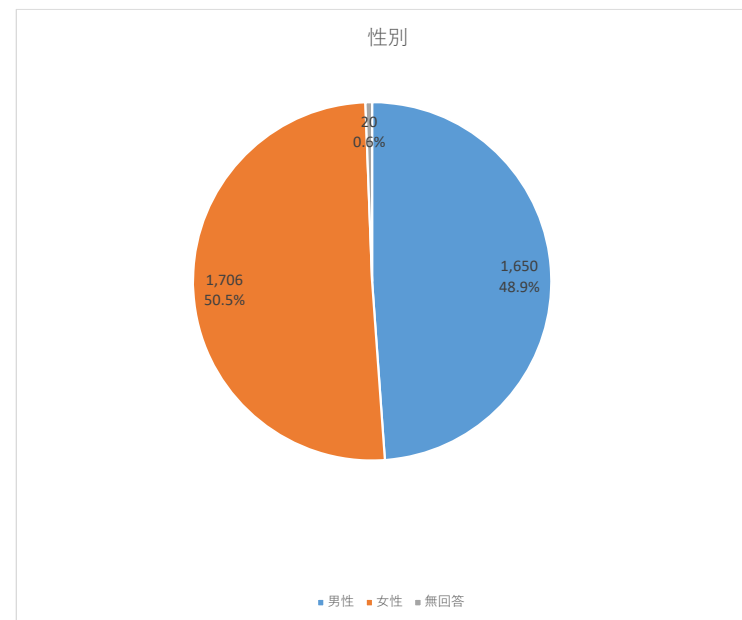
Q1 あなたが勤務する学校の地域についておたずねします。

選択肢	件数	割合
新潟県上越地域	1,774	52.5%
新潟県中越地域	514	15.2%
新潟県新潟市	1,055	31.3%
新潟県下越・佐渡地域（新潟市除く）	26	0.8%
群馬県	0	0.0%
富山県	0	0.0%
長野県	0	0.0%
その他	3	0.1%
無回答	4	0.1%



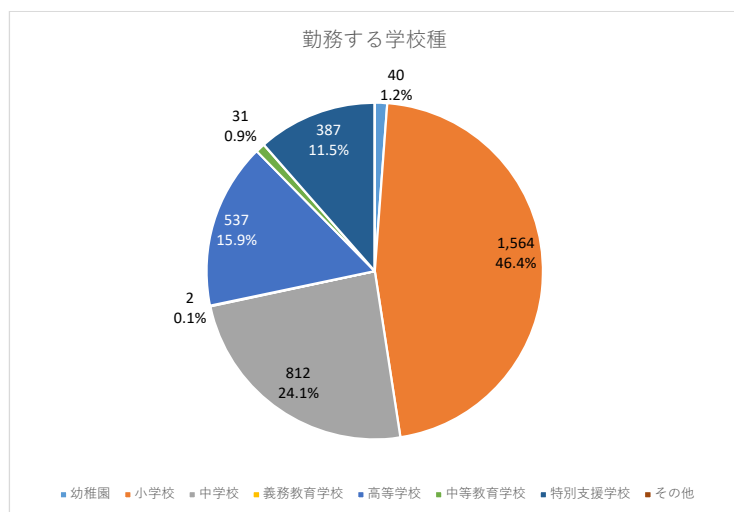
Q2 あなたの性別についておたずねします。(回答任意)

選択肢	件数	割合
男性	1,650	48.9%
女性	1,706	50.5%
無回答	20	0.6%



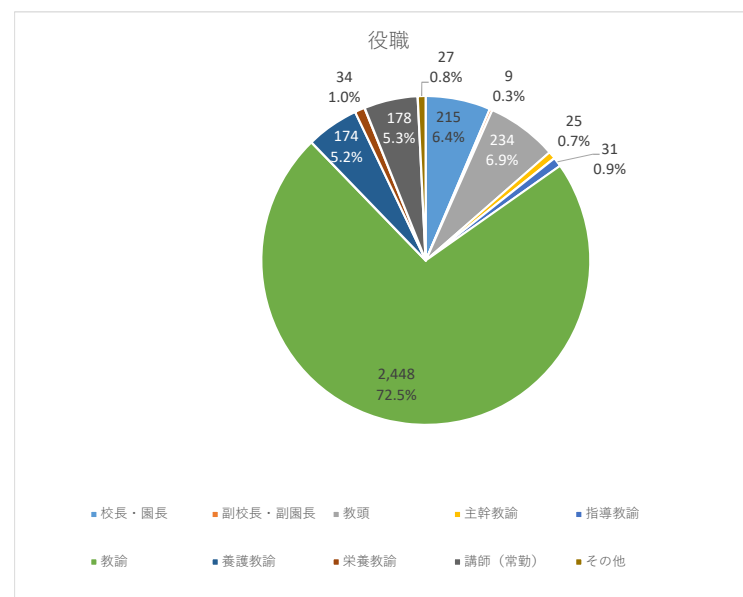
Q3 あなたが勤務する学校種についておたずねします。

選択肢	件数	割合
幼稚園	40	1.2%
小学校	1,564	46.4%
中学校	812	24.1%
義務教育学校	2	0.1%
高等学校	537	15.9%
中等教育学校	31	0.9%
特別支援学校	387	11.5%
その他	0	0.0%



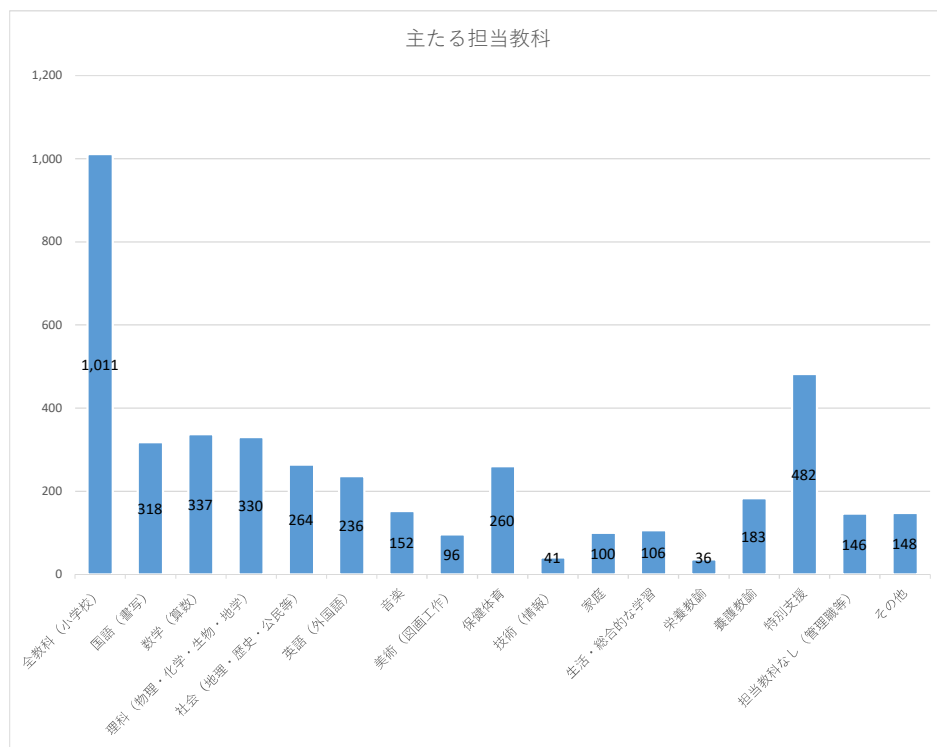
Q4 あなたの現在の役職についておたずねします。

選択肢	件数	割合
校長・園長	215	6.4%
副校長・副園長	9	0.3%
教頭	234	6.9%
主幹教諭	25	0.7%
指導教諭	31	0.9%
教諭	2,448	72.5%
養護教諭	174	5.2%
栄養教諭	34	1.0%
講師（常勤）	178	5.3%
その他	27	0.8%



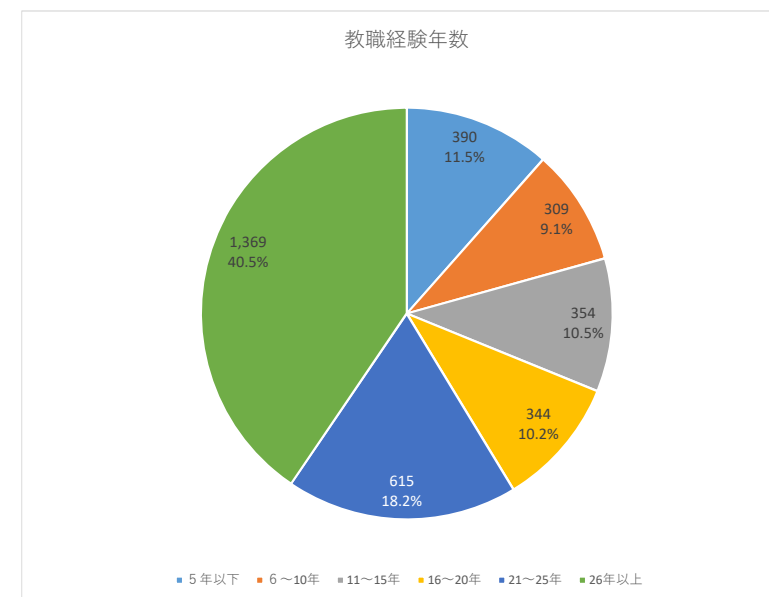
Q5 あなたが担当している（していた）主たる教科等についておたずねします。

選択肢	件数	割合
全教科(小学校)	1,011	23.8%
国語(書写)	318	9.4%
数学(算数)	337	10.0%
理科(物理・化学・生物・地学)	330	9.8%
社会(地理・歴史・公民等)	264	7.8%
英語(外国語)	236	7.0%
音楽	152	4.5%
美術(図画工作)	96	2.8%
保健体育	260	7.7%
技術(情報)	41	1.2%
家庭	100	3.0%
生活・総合的な学習	106	3.1%
栄養教諭	36	1.1%
養護教諭	183	5.4%
特別支援	482	14.3%
担当教科なし(管理職等)	146	4.3%
その他	148	4.4%



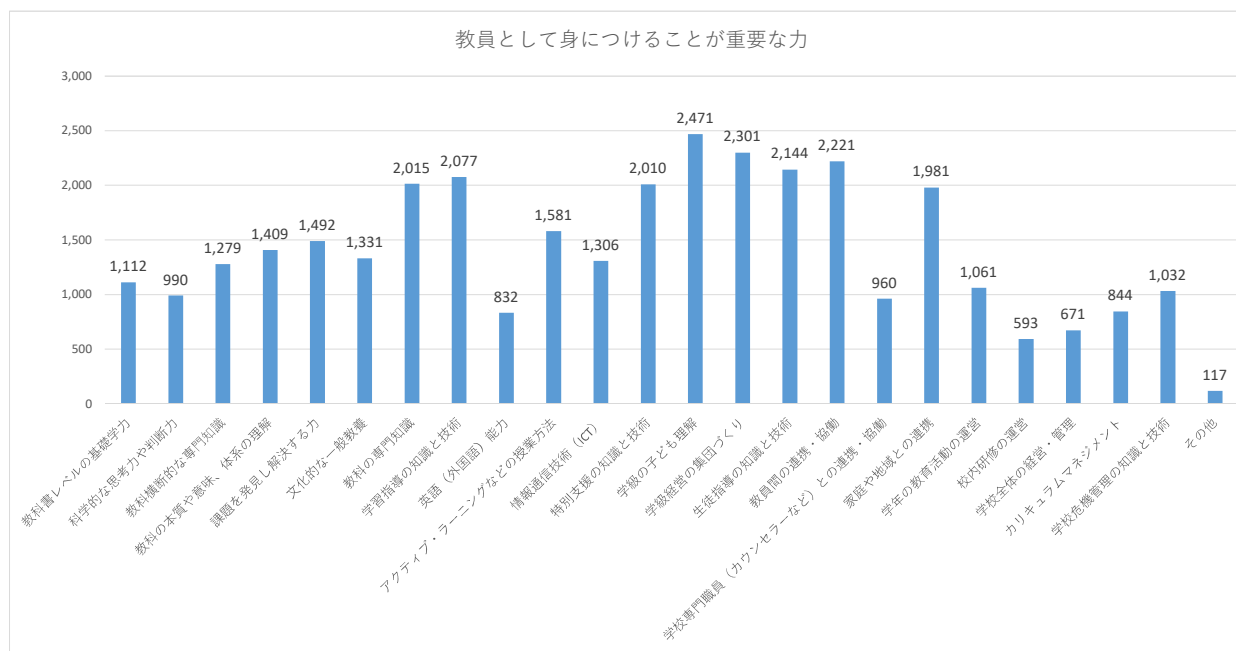
Q6 あなたの教職経験年数についておたずねします。

選択肢	件数	割合
5年以下	390	11.5%
6～10年	309	9.1%
11～15年	354	10.5%
16～20年	344	10.2%
21～25年	615	18.2%
26年以上	1,369	40.5%



Q7 あなたは、教員としてのどのような力を身につけることが重要だと思いますか。（複数回答可）

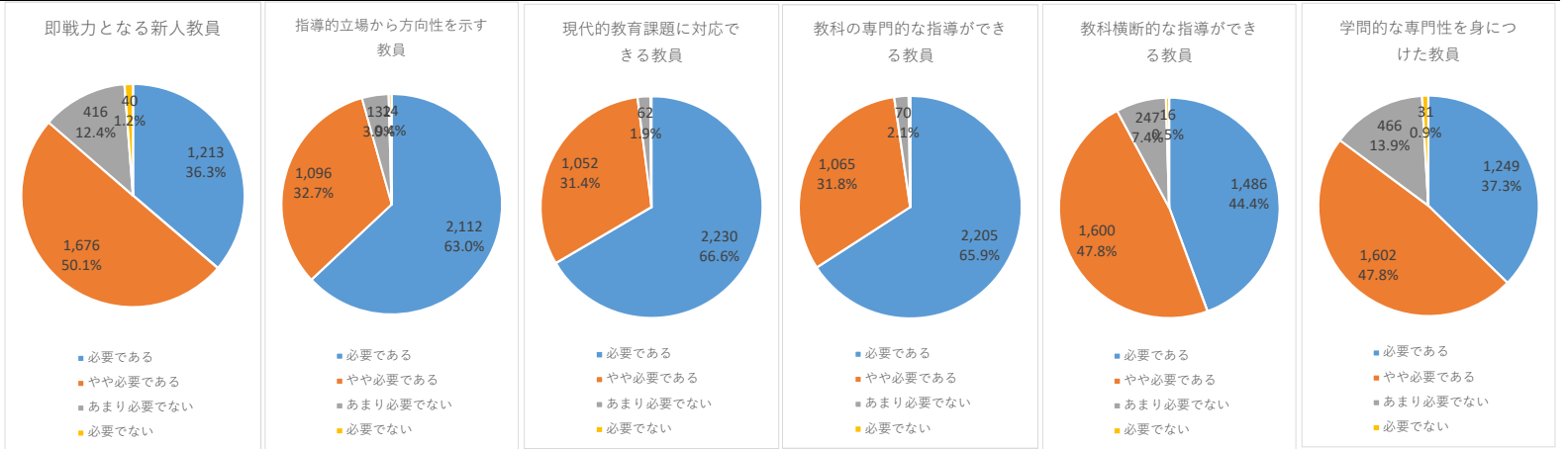
選択肢	件数	割合
教科書レベルの基礎学力	1,112	32.9%
科学的な思考力や判断力	990	29.3%
教科横断的な専門知識	1,279	37.9%
教科の本質や意味、体系の理解	1,409	41.7%
課題を発見し解決する力	1,492	44.2%
文化的な一般教養	1,331	39.4%
教科の専門知識	2,015	59.7%
学習指導の知識と技術	2,077	61.5%
英語（外国語）能力	832	24.6%
アクティブ・ラーニングなどの授業方法	1,581	46.8%
情報通信技術（ICT）	1,306	38.7%
特別支援の知識と技術	2,010	59.5%
学級の子ども理解	2,471	73.2%
学級経営の集団づくり	2,301	68.2%
生徒指導の知識と技術	2,144	63.5%
教員間の連携・協働	2,221	65.8%
学校専門職員（カウンセラーなど）との連携・協働	960	28.4%
家庭や地域との連携	1,981	58.7%
学年の教育活動の運営	1,061	31.4%
校内研修の運営	593	17.6%
学校全体の経営・管理	671	19.9%
カリキュラムマネジメント	844	25.0%
学校危機管理の知識と技術	1,032	30.6%
その他	117	3.5%



- 人間性（人間力、人間的魅力等）(12)
 - コミュニケーション能力(12)
 - 一般常識(7)
 - 部活動の知識・指導力(5)
 - モラル、マナー(3)
 - 労働（法）に関する知識(3)
 - 人権感覚(2)
 - 教育愛(2)
 - 道徳性(2)
 - ユーモア(2)
 - 協調性(2)
- ※回答数が2件以上のものを多い順に掲載

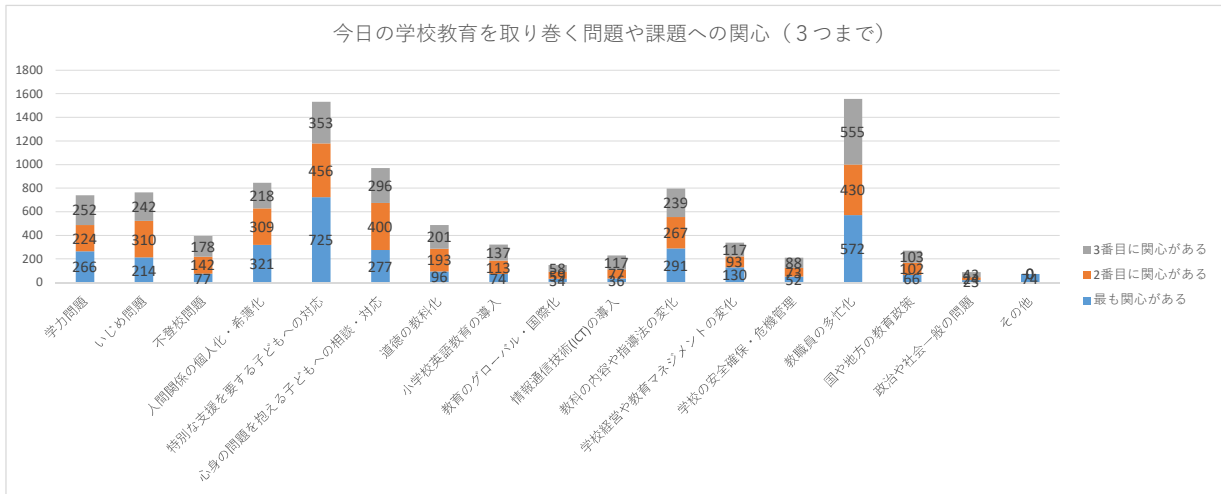
Q8 あなたは、どのような教員が学校現場に必要なと思いますか。

選択肢	即戦力となる新人教員		指導的立場から方向性を示す教員		現代的教育課題に対応できる教員		教科の専門的な指導ができる教員		教科横断的な指導ができる教員		学問的な専門性を身につけた教員	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
必要である	1,213	36.3%	2,112	63.0%	2,230	66.6%	2,205	65.9%	1,486	44.4%	1,249	37.3%
やや必要である	1,676	50.1%	1,096	32.7%	1,052	31.4%	1,065	31.8%	1,600	47.8%	1,602	47.8%
あまり必要でない	416	12.4%	132	3.9%	62	1.9%	70	2.1%	247	7.4%	466	13.9%
必要でない	40	1.2%	14	0.4%	6	0.2%	7	0.2%	16	0.5%	31	0.9%



Q9 あなたは、今日の学校教育を取り巻く次の問題や課題に関心がありますか。（関心がある順に1番目～3番目まで選択）

選択肢	件数	割合
学力問題	742	22.0%
いじめ問題	766	22.7%
不登校問題	397	11.8%
人間関係の個人化・希薄化	848	25.1%
特別な支援を要する子どもへの対応	1,534	45.4%
心身の問題を抱える子どもへの相談・対応	973	28.8%
道徳の教科化	490	14.5%
小学校英語教育の導入	324	9.6%
教育のグローバル・国際化	151	4.5%
情報通信技術(ICT)の導入	230	6.8%
教科の内容や指導法の変化	797	23.6%
学校経営や教育マネジメントの変化	340	10.1%
学校の安全確保・危機管理	213	6.3%
教職員の多忙化	1,557	46.1%
国や地方の教育政策	271	8.0%
政治や社会一般の問題	90	2.7%
その他	74	2.2%

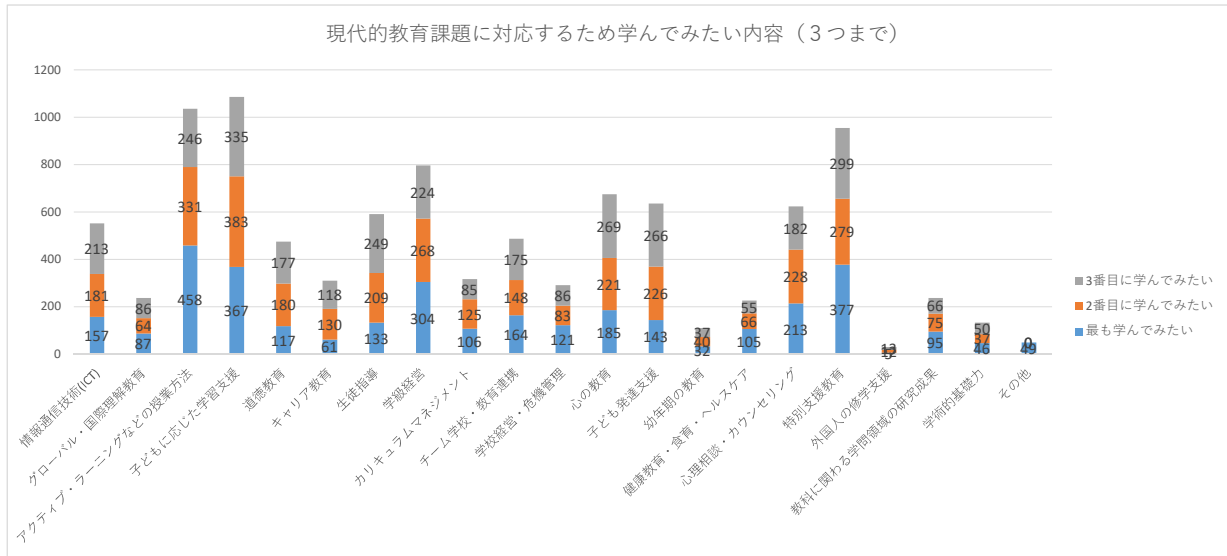


保護者対応(13)	メディアコントロール(4)	労働条件(2)
部活動(10)	高大接続改革(3)	貧困・格差問題(2)
家庭環境(4)	地域との連携(2)	学級経営(2)

※回答数が2件以上のものを多い順に掲載

Q10 あなたが、現代的教育課題に対応するために、学んでみたい（学んでもらいたい）と思うものはどれですか。（学んでみたい順に1番目～3番目まで選択）

選択肢	件数	割合
情報通信技術(ICT)	551	16.3%
グローバル・国際理解教育	237	7.0%
アクティブ・ラーニングなどの授業方法	1,035	30.7%
子どもに応じた学習支援	1,085	32.1%
道徳教育	474	14.0%
キャリア教育	309	9.2%
生徒指導	591	17.5%
学級経営	796	23.6%
カリキュラムマネジメント	316	9.4%
チーム学校・教育連携	487	14.4%
学校経営・危機管理	290	8.6%
心の教育	675	20.0%
子ども発達支援	635	18.8%
幼年期の教育	109	3.2%
健康教育・食育・ヘルスケア	226	6.7%
心理相談・カウンセリング	623	18.5%
特別支援教育	955	28.3%
外国人の修学支援	30	0.9%
教科に関わる学問領域の研究成果	236	7.0%
学術的基礎力	133	3.9%
その他	49	1.5%



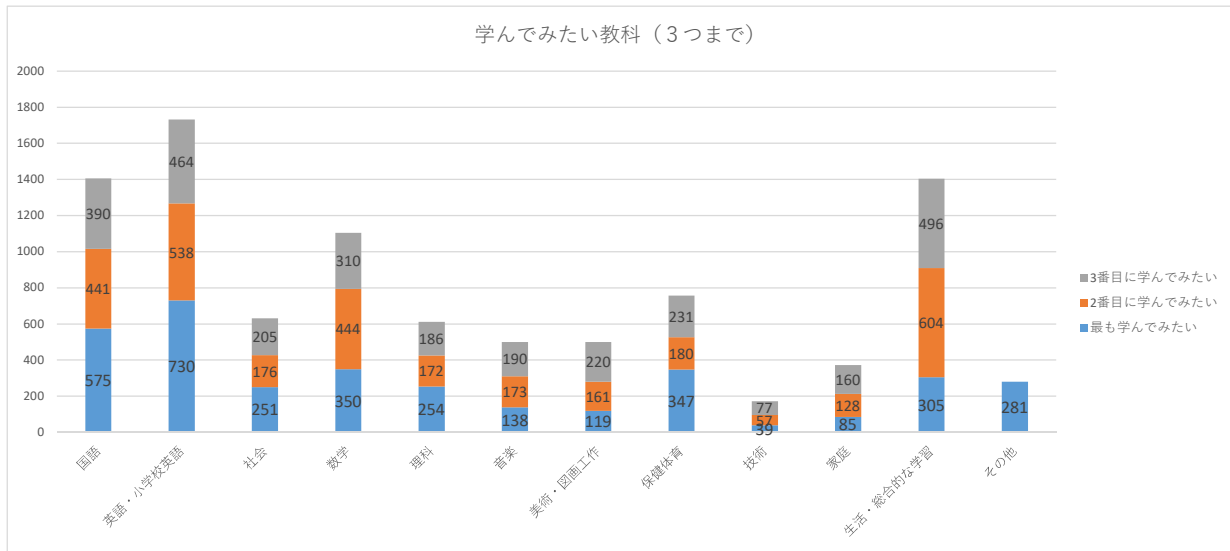
コミュニケーション能力(2)
 部活指導(2)
 平和教育(2)
 保護者対応(2)
 ※回答数が2件以上のものを掲載

Q11 あなたが、教科に関する内容のうち、学んでみたい（学んでもらいたい）と思うものはどれですか。（学んでみたい順に1番目～3番目まで選択）

選択肢	件数	割合
国語	1,406	41.6%
英語・小学校英語	1,732	51.3%
社会	632	18.7%
数学	1,104	32.7%
理科	612	18.1%
音楽	501	14.8%
美術・図画工作	500	14.8%
保健体育	758	22.5%
技術	173	5.1%
家庭	373	11.0%
生活・総合的な学習	1,405	41.6%
その他	281	8.3%

道徳(150)	農業(4)
特別支援教育(18)	学活(3)
特別活動(14)	人権、同和教育(3)
自立活動(10)	キャリア教育(2)
情報(7)	商業(2)
幼児教育(6)	
工業(5)	

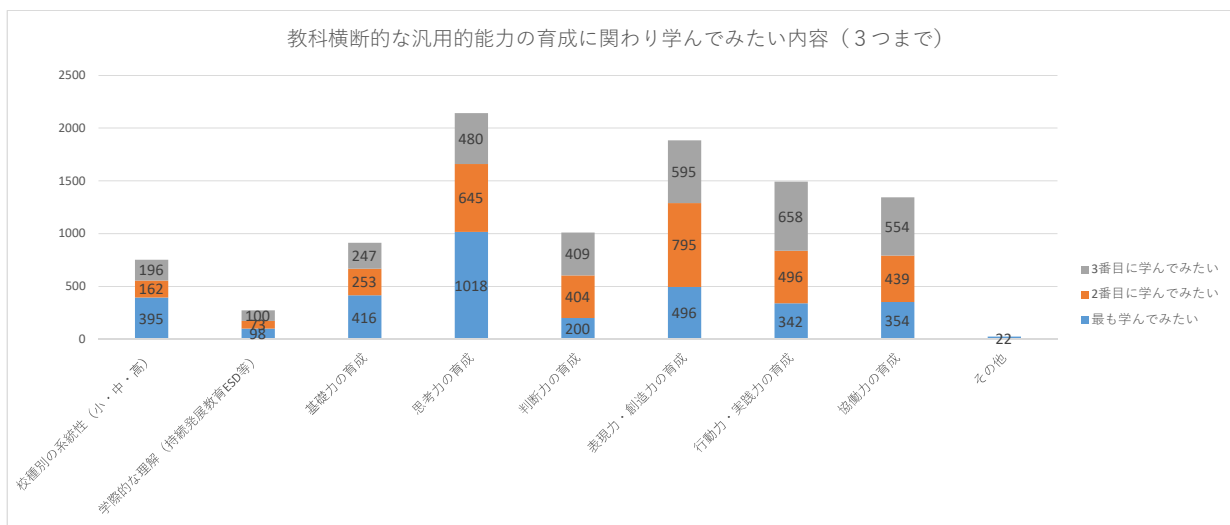
※回答数が2件以上のものを掲載



Q12 あなたが、教科横断的な汎用的能力の育成に関わる内容のうち、学んでみたい（もらいたい）と思うものはどれですか。（学んでみたい順に1番目～3番目まで選択）

選択肢	件数	割合
校種別の系統性(小・中・高)	753	22.3%
学際的な理解(持続発展教育ESD等)	271	8.0%
基礎力の育成	916	27.1%
思考力の育成	2,143	63.5%
判断力の育成	1,013	30.0%
表現力・創造力の育成	1,886	55.9%
行動力・実践力の育成	1,496	44.3%
協働力の育成	1,347	39.9%
その他	22	0.7%

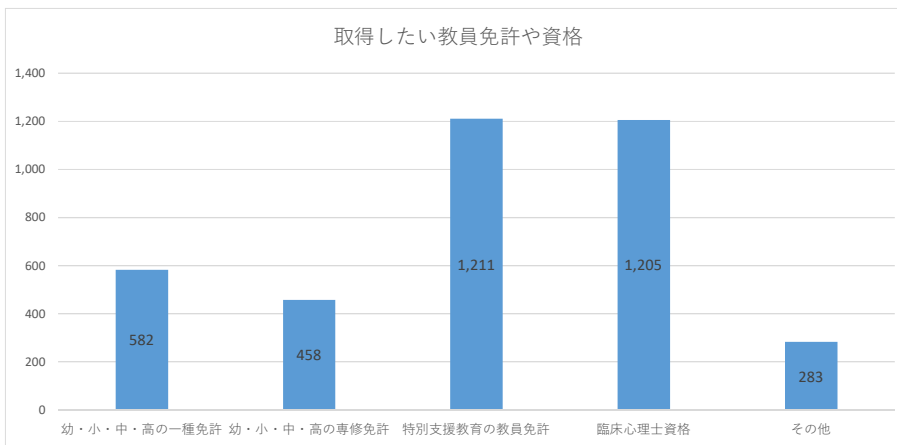
コミュニケーション力(2)	生徒との関わり方
問題解決力の育成	学習意欲の向上
社会参画、形成能力の育成	
自己理解の育成	
幼・小・中・高の校種別の系統性	
ケン・ロビンソンの「エレメント」	
教科横断の力(他教科の基礎学力の理解)	
認知心理学	
資質・能力	
人権教育(平等権や男女共同参画、ヘイトスピーチなどの人権侵害の件)	



Q13 あなたは、取得したい（させたい）教員免許や資格はありますか。

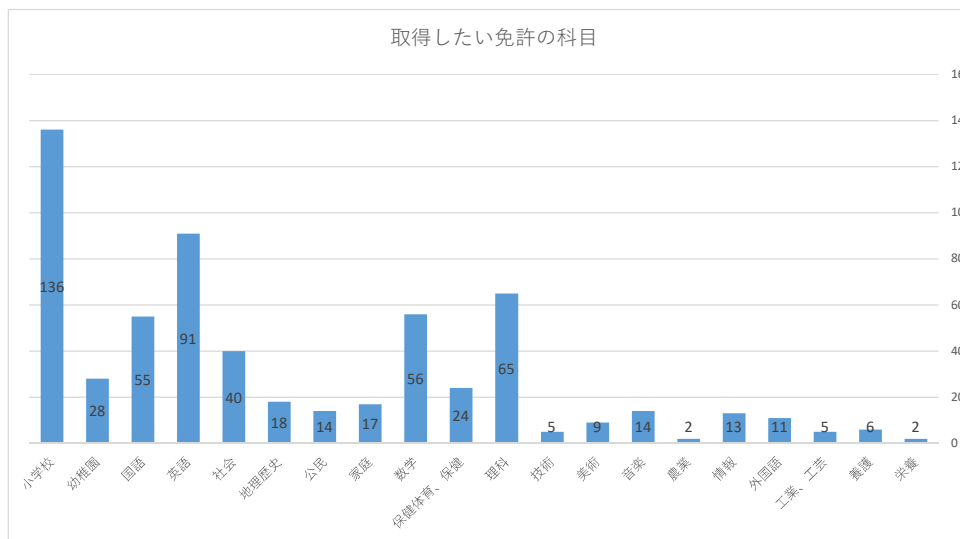
選択肢	件数	割合
幼・小・中・高の一種免許	582	17.2%
幼・小・中・高の専修免許	458	13.6%
特別支援教育の教員免許	1,211	35.9%
臨床心理士資格	1,205	35.7%
その他	283	8.4%

司書教諭(44)
 社会教育主事(19)
 英語検定、英語(13)
 カウンセラー、カウンセリング(11)
 特別支援教育士(7)
 養護教諭(7)
 学校心理士(6)
 学芸員(5)
 ※回答数が5件以上のものを件数が多い順に掲載



※教科等別集計結果

科目	一種免許	専修免許	合計
小学校	86	50	136
幼稚園	23	5	28
国語	25	30	55
英語	69	22	91
社会	26	14	40
地理歴史	2	16	18
公民	5	9	14
家庭	10	7	17
数学	30	26	56
保健体育、保健	11	13	24
理科	29	36	65
技術	3	2	5
美術	6	3	9
音楽	8	6	14
農業	0	2	2
情報	12	1	13
外国語	4	7	11
工業、工芸	2	3	5
養護	2	4	6
栄養	0	2	2

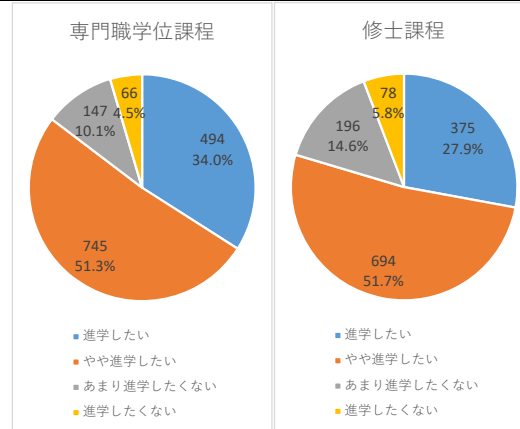
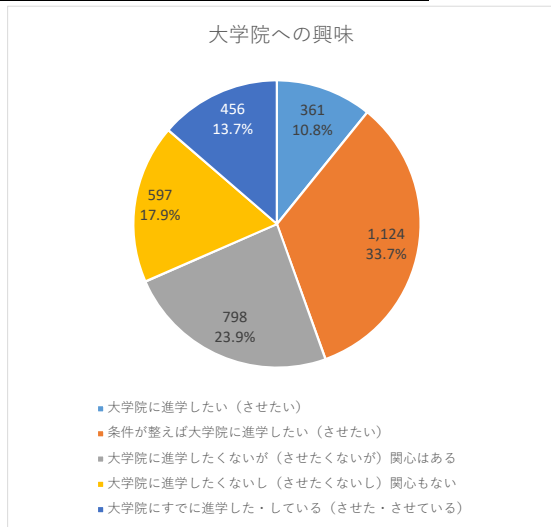


Q14 あなたは、教職の専門的な教育・研修を受けるために、大学院に進学したい（させたい）と思いますか。

SQ 「大学院に進学したい」、「条件が整えば大学院に進学したい」と答えた方におたずねします。上越教育大学大学院が開設している専門職学位課程（教職大学院）及び修士課程のどちらの課程に進学したいと思いますか。

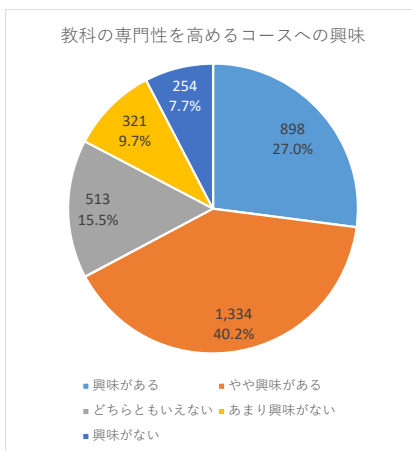
選択肢	件数	割合
大学院に進学したい(させたい)	361	10.8%
条件が整えば大学院に進学したい(させたい)	1,124	33.7%
大学院に進学したくないが(させたくないが) 関心はある	798	23.9%
大学院に進学したくないし(させたくないし) 関心もない	597	17.9%
大学院にすでに進学した・している(させた・させている)	456	13.7%

選択肢	専門職学位課程		修士課程	
	件数	割合	件数	割合
進学したい	494	34.0%	375	27.9%
やや進学したい	745	51.3%	694	51.7%
あまり進学したくない	147	10.1%	196	14.6%
進学したくない	66	4.5%	78	5.8%



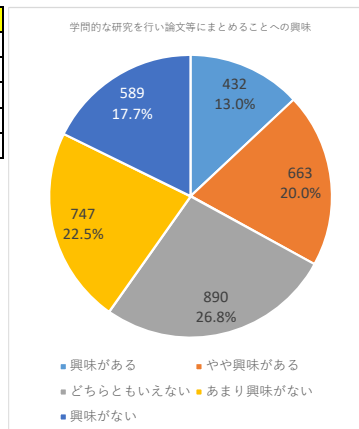
Q15 あなたは、大学院で教科の専門性を高めるコースに興味がありますか。

選択肢	件数	割合
興味がある	898	27.0%
やや興味がある	1,334	40.2%
どちらともいえない	513	15.5%
あまり興味がない	321	9.7%
興味がない	254	7.7%



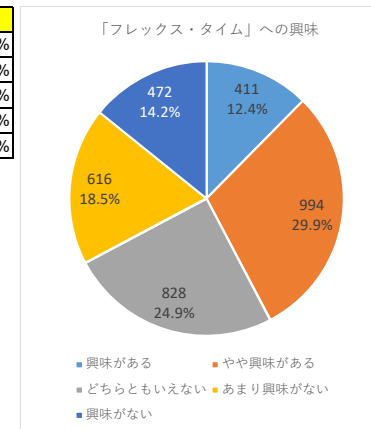
Q16 あなたは、大学院で学問的な研究を行い、論文等の形にまとめることに興味がありますか。

選択肢	件数	割合
興味がある	432	13.0%
やや興味がある	663	20.0%
どちらともいえない	890	26.8%
あまり興味がない	747	22.5%
興味がない	589	17.7%



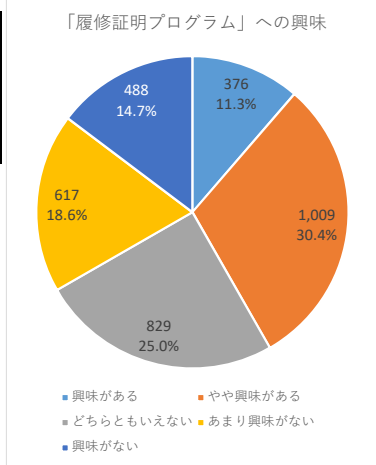
Q17 あなたは、大学院で休日・夜間・休暇期間にも授業を履修することができる「フレックス・タイム」に興味がありますか。

選択肢	件数	割合
興味がある	411	12.4%
やや興味がある	994	29.9%
どちらともいえない	828	24.9%
あまり興味がない	616	18.5%
興味がない	472	14.2%



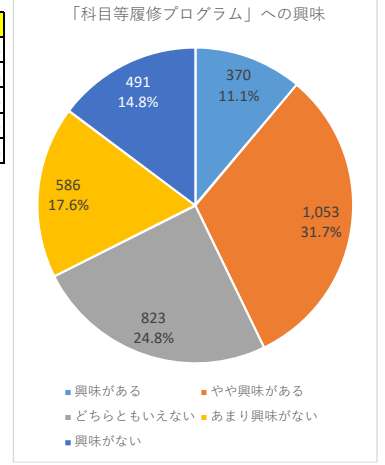
Q18 あなたは、大学院の入学前に夏休みや週末の集中講義、遠隔授業などにより授業を履修し、入学後にその単位を認定して1年間で修了できる「履修証明プログラム」に興味がありますか。

選択肢	件数	割合
興味がある	376	11.3%
やや興味がある	1,009	30.4%
どちらともいえない	829	25.0%
あまり興味がない	617	18.6%
興味がない	488	14.7%



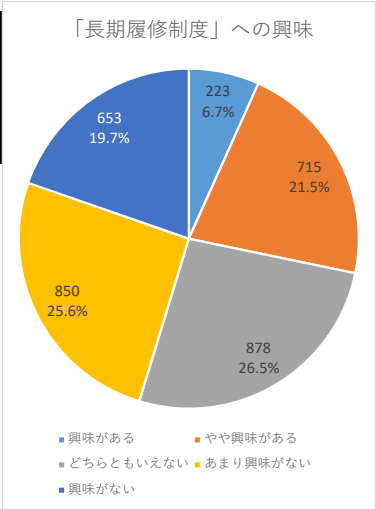
Q19 あなたは、大学院の入学後に夏休みや週末の集中講義、遠隔授業などにより授業を履修し、単位を積み上げ認定して1年間で修了できる「科目等履修プログラム」に興味がありますか。

選択肢	件数	割合
興味がある	370	11.1%
やや興味がある	1,053	31.7%
どちらともいえない	823	24.8%
あまり興味がない	586	17.6%
興味がない	491	14.8%



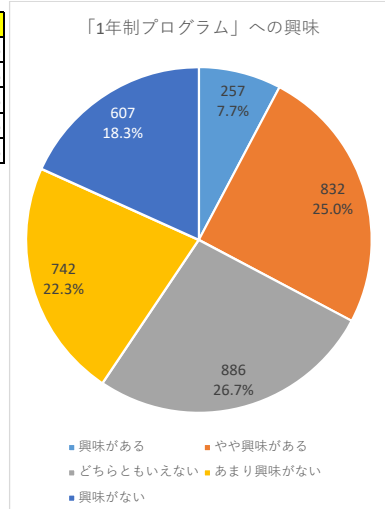
Q20 あなたは、大学院で6年間かけて夏休みや週末の集中講義、遠隔授業などにより履修し、実習は勤務校でおこなって修了する「長期履修制度」に興味がありますか。

選択肢	件数	割合
興味がある	223	6.7%
やや興味がある	715	21.5%
どちらともいえない	878	26.5%
あまり興味がない	850	25.6%
興味がない	653	19.7%



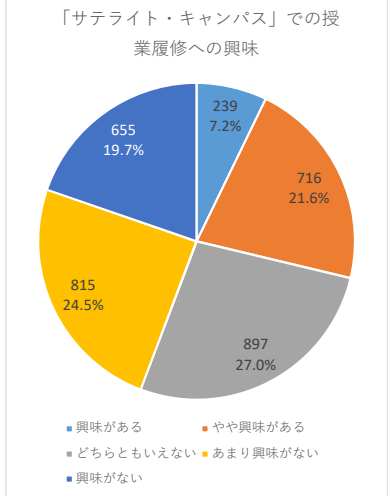
Q21 あなたは、大学院で教育経営のマネジメントを研究し、1年間で指導的な役割を果たす教員を養成する「1年制プログラム」に興味がありますか。

選択肢	件数	割合
興味がある	257	7.7%
やや興味がある	832	25.0%
どちらともいえない	886	26.7%
あまり興味がない	742	22.3%
興味がない	607	18.3%



Q22 あなたは、東京や新潟市などの大都市に設置する「サテライト・キャンパス」で授業を履修することに興味がありますか。

選択肢	件数	割合
興味がある	239	7.2%
やや興味がある	716	21.6%
どちらともいえない	897	27.0%
あまり興味がない	815	24.5%
興味がない	655	19.7%



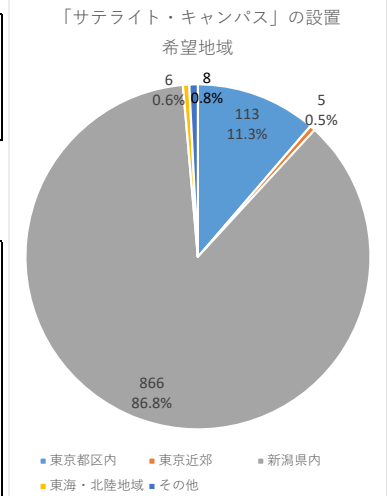
SQ 「興味がある」、「やや興味がある」と答えた方におたずねします。「サテライト・キャンパス」をどの地域に設置してほしいと思いますか。

選択肢	件数	割合
東京都区内	113	11.3%
東京近郊	5	0.5%
新潟県内	866	86.8%
東海・北陸地域	6	0.6%
その他	8	0.8%

長野市(3)
関西、大阪

※「東京近郊」、「新潟県内」、「東海北陸地域」の具体的な都市名

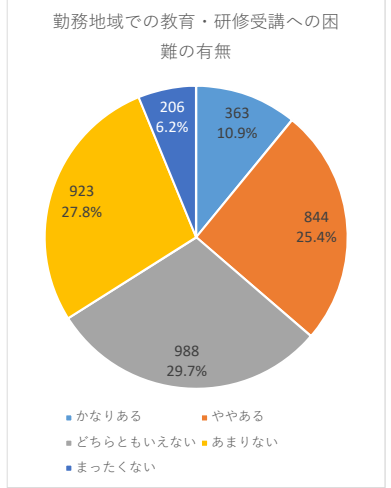
- | | | |
|--------|-------------|----------|
| <東京近郊> | <新潟県内> | <東海北陸地域> |
| 横浜市(2) | 新潟市(452) | 富山市(2) |
| 前橋市 | 長岡市(187) | 金沢市(2) |
| さいたま市 | 上越市(89) | 長野市 |
| 千葉市 | 柏崎市(25) | |
| | 魚沼市・南魚沼市(9) | |
| | 十日町市(9) | |
| | 佐渡市(6) | |
| | 新発田市(6) | |
| | 三条市(4) | |
| | 糸魚川市(3) | |
| | 妙高市(3) | |
| | 村上市 | |
| | 燕市 | |
| | 加茂市 | |



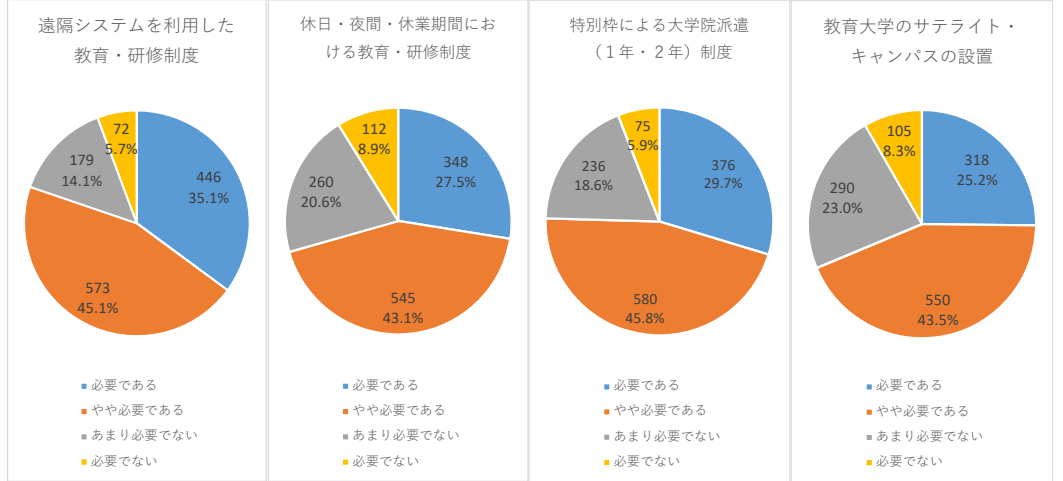
Q23 あなたは、ご自身が勤める地域において、教職に関する専門的な教育や研修を受けるための困難や不利があると思いますか。

SQ 「5 かなりある」「4 ややある」と答えた方におたずねします。困難や不利を解消するために、どのような制度があればよいと考えますか。

選択肢	件数	割合
かなりある	363	10.9%
ややある	844	25.4%
どちらともいえない	988	29.7%
あまりない	923	27.8%
まったくない	206	6.2%



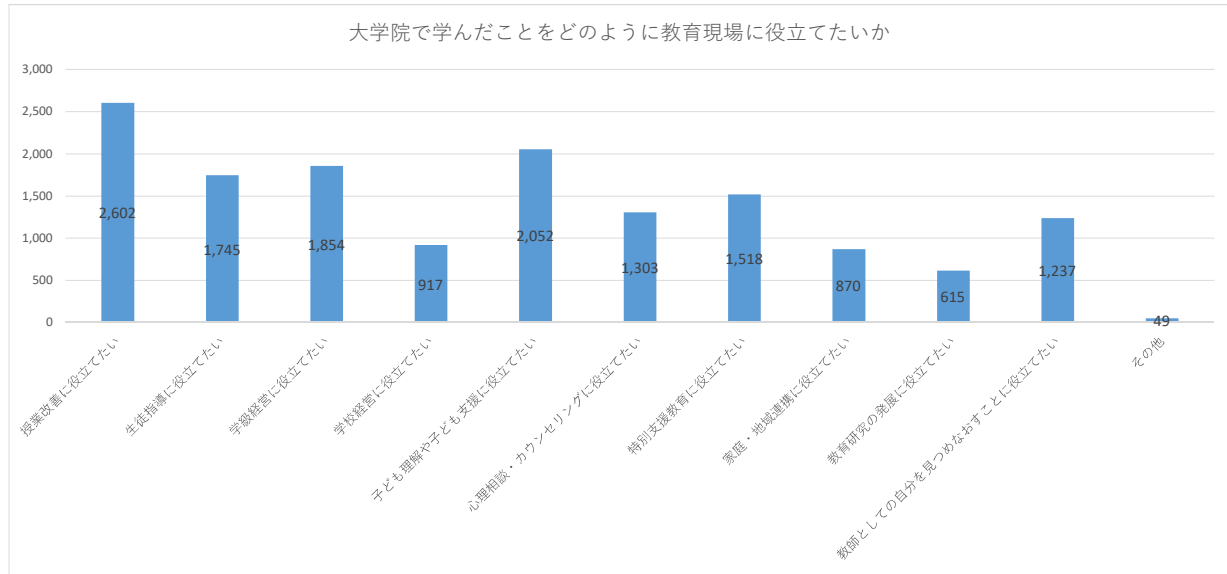
選択肢	遠隔システムを利用した教育・研修制度		休日・夜間・休業期間における教育・研修制度		特別枠による大学院派遣（1年・2年）制度		教育大学のサテライト・キャンパスの設置	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
必要である	446	35.1%	348	27.5%	376	29.7%	318	25.2%
やや必要である	573	45.1%	545	43.1%	580	45.8%	550	43.5%
あまり必要でない	179	14.1%	260	20.6%	236	18.6%	290	23.0%
必要でない	72	5.7%	112	8.9%	75	5.9%	105	8.3%



Q24 あなたは、大学院へ進学したとしたら、大学院で学んだことをどのように教育現場に役立てたい（役立ててもらいたい）と思いますか。

選択肢	件数	割合
授業改善に役立てたい	2,602	77.1%
生徒指導に役立てたい	1,745	51.7%
学級経営に役立てたい	1,854	54.9%
学校経営に役立てたい	917	27.2%
子ども理解や子ども支援に役立てたい	2,052	60.8%
心理相談・カウンセリングに役立てたい	1,303	38.6%
特別支援教育に役立てたい	1,518	45.0%
家庭・地域連携に役立てたい	870	25.8%
教育研究の発展に役立てたい	615	18.2%
教師としての自分を見つめなおすことに役立てたい	1,237	36.6%
その他	49	1.5%

現場で役に立つものがあるか疑問／興味なし(6)
 自分の興味関心・生きがい(5)
 修了済み(2)
 教師という立場の倫理観
 専門性と経験を生徒の興味・関心に役立てたい
 保健室経営
 新潟県の教育改革
 子供たちの健康
 職業以外
 教員（同僚）のメンタルヘルス
 保護者対応
 進学卒業後現場にもどる際に不安を感じるだろう
 部活指導
 カリキュラム・マネジメントに役立てたい。
 休みたい
 定年間近、役立てるには無理がある。
 地域への支援
 現代の教育について見地を得たい（大局的に）
 課題の発見と解決する能力が役立つ
 校内研修、国や県・市の研究指定のリーダー
 新しい教育システムの構築、現場指導。
 後輩に伝えていきたい＝後輩を育てることもしていきたい
 学級崩壊たてなおしの専門家として。
 教師の教師となってほしい
 教員間のよりよい関係づくり



Q25 あなたは、大学院に進学する（進学させる）ことにどのような支障や不安を感じますか。

選択肢	件数	割合
大学院で専門的なことを学ぶ自信がない	458	13.6%
大学教員の指導を受ける不安を感じる	179	5.3%
日常生活が多忙で学ぶ時間がとれない	1,968	58.3%
大学まで通学する時間がとれない	759	22.5%
自宅から遠距離で通学と両立できない	788	23.3%
大学院のカリキュラムが自分の関心に合っていない	247	7.3%
学費など経済面での支障や不安がある	1,372	40.6%
健康面での支障や不安がある	219	6.5%
年齢面での支障や不安がある	1,120	33.2%
家庭生活面での支障や不安がある	983	29.1%
その他	151	4.5%

学校現場を離れることへの不安、職場に復帰した後の適応や成果還元への不安(22)
 興味が無い、必要性が感じられない(12)
 論文を書くことへの不安(9)
 修了済み(7)
 学校現場で働きたい、現場での学びを大切にしたい(6)
 大学教員の指導への不安(4)
 年齢的な不安や困難(4)
 大学院進学の制度がよくわからない(3)
 大学の教育が自分のニーズと合っているか不安(2)
 家庭の事情(2)
 ※回答数が2件以上のものを多い順に掲載

